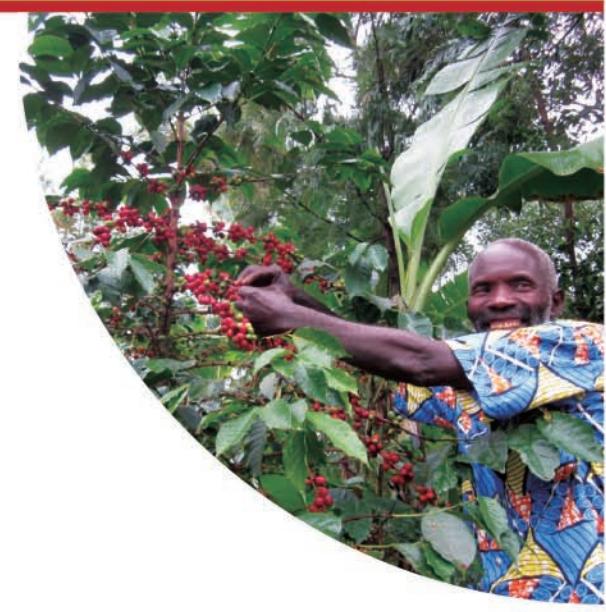


コンゴ民主共和国のコーヒーを通じて アフリカと日本をつなげたい



アフリカ、 そしてコーヒーとの出会い

2006年にルワンダからコーヒー豆直輸入を果たしたことがきっかけで、私とアフリカの縁が始まりました。当時は南米との直輸入は少なくなかったようですが、アフリカの農園との直輸入はめずらしいものでした。以来、私はアフリカとの「直貿易」に取り組んできました。

直貿易は利益にならないものです。陸送も船便も手配し、もちろん農園とのやりとりもあります。当時はメッセージ交換アプリも普及しておらず、電話代は大変高額でした。石を混ぜてくる、サンプルと本体が全く違う、コンテナが輸送途中で迷子になり日本に着いたら悪い豆になっていたというようなこともあります。無事に届くかわかりません。届いたとしてもどのような状態かわかりません。リスクは尽きませんでした。

私は元々あまりコーヒーを飲まない人間でした。家内がルワンダ出身で「苦くなくて飲みやすいコーヒーがある」と教えられ、飲んでみて衝撃を受けたのです。その感動がアフリカのコーヒーとの出会いです。ですのでコーヒーのことは何も知りませんでした。ましてやコーヒー豆貿易のリスクなど知るわけもありません。何もわからない、だからスタートできたのだと思います。

25袋の輸入から始めた事業は電話とメール



コンゴ民主共和国(DRC)コーヒー
生豆 / 焙煎豆

ルと飛込で250袋まで拡大しました。しかし私はキャッシュフローの観念がなく、事業として継続していくことが難しくなりました。そこでコーヒー豆貿易は一旦つまずいてしまったのです。

その後はルワンダと日本の交流活発化に力を注ぎました。レアメタルの輸入なども手がけましたが大きな実績を残すことはできませんでした。そんな矢先、タンザニアからコーヒー豆貿易の打診がありました。翌年には私は現地を訪れ、タンザニア農業省の案内でキリマンジャロ周辺農園10か所を巡ったのです。

さらに続けてコンゴ民主共和国在京大使からキブ州のコーヒーを日本で売ってくれないかとの話が舞い込んできました。「コンゴを日本にPRしたい、鉱物一辺倒からの脱却を目指しコーヒー復興をしたい」というものでした。

コンゴ民主共和国との 直貿易の難しさ

コンゴ民主共和国・キブ州は紛争理由による、外務省渡航禁止地区に当たります。キブ州は鉱物資源が豊富な地域で、なかでもコバルトは世界の半分を占めるとされています。一方、農業も世界的に大変めずらしい四毛作を可能とする肥沃な大地を持ちます。悲しいことにその環境を巡って紛争が絶えない地域なのです。



コンゴ民主共和国は外国資金規制対象国ですので、送金は容易ではありません。しかも、送金先はキブ州です。テロの資金源になつてはいけませんので送金と物流は大変高いハードルでした。それらの問題は一年かかってクリアし、昨年末にようやくルワンダ経由の空輸で第一便が届きました。

一方「ルワンダ産問題」にも直面しました。これはルワンダ外資系業者がコンゴ民主共和国で密貿易をし、ルワンダ産として出荷するというものです。キブ州では紛争理由もあり、良い生産と収穫はできるものの、販路に難があります。そこで、隣国ウガンダやルワンダから非合法的に買い付けにきてそれぞれの産地とし高品質コーヒーとして輸出されてしまうのです。すると末端農民にはお金が回らないことになります。ですから、国としても正式な直貿易に期待を寄せているのです。

現地の生産者に つくる喜びを

日本に生豆が輸出されます。するとどこでどのように売られているかが農園の人にも分かります。直貿易では買い手のみならず、生産者にとどめの見えるコーヒーとなるのです。すると生産意欲向上にもつながります。

これまで一人で事業をしていましたが、現在はWEB対応できるようにチームが形成され

ました。いずれは農園から直でクリック一つでWEB購買できる日が来るといいと思っています。越境EC用WEBサイトを用意した現在、その実現も近づいてきました。私どもの売り上げの3%は農園に還元する予定です。環境の整備などに活用していただき、さらなる好循環を願っています。

コンゴ民主共和国・キブ州は最高品質の豆を生産し収穫できる地であり、しかも広大な土地柄により収穫量も期待できます。新型コロナウイルスの影響で世界中の活気が失せてきている今、紛争地域であっても良いコーヒーが生産され、それがダイレクトに日本に届く、それはある意味「生命力の贈り物」といえるのではないでしょうか。アフリカの溢れる大地のエネルギーをコーヒーからいただき、日本の笑顔をキブの農園に届けましょう。

私はアフリカと妙縁でつながっていると感じています。これまで幾多の困難があり、途切れかかった時期もありましたが、アフリカと日本をつなぐことは天命でもあると思っています。

コンゴ民主共和国は今年、建国・国交とも60周年です。コーヒーの美味しさはもとより、その背景にある社会的、国際的意義を多くの方に知っていただくことを切に願っています。

合同会社 シェトラトレーディング
業務執行役員 大貝 隆一

弊社商品について
詳しくはホームページへ



合同会社 シェトラトレーディング
〒300-1525 茨城県取手市桜が丘4-14-4 TEL.080-3727-8882
<https://shetoratrading.com>